

INFO-HIRO-21

第 499 号 2021 年 3 月 1 日
弘前大学総務部総務広報課

新型コロナウイルス感染症の状況により、イベント・行事の実施について、変更が生じる場合がございます。最新の情報は弘前大学公式ホームページ (<https://www.hirosaki-u.ac.jp/>) にてお知らせいたします。

イベントのお知らせ

弘前大学資料館第25回企画展について

弘前大学資料館では第25回企画展として「ケニアを知ろう～東アフリカはきれいだ～」を2月10日から3月6日まで特設コーナーにおいて開催いたします。

弘前大学教育学部・国費教員研修留学生のジェームス・ムブグアさんによる東アフリカ、ケニアの紹介および弘前大学での学習の成果です。ふるさとケニアを懐かしみながら描いたアクリル画約10点に加え、ケニアの民芸品・工芸品、小学校教員をしていたケニアの学校の様子や野生動物たちの写真、日本画、洋画、木工、手織物等、弘前大学での授業成果などを日本語、英語、スワヒリ語の解説をつけて紹介します。

みなさまのご来館をお待ちしております。

弘前大学資料館第25回企画展 「ケニアを知ろう～東アフリカはきれいだ～」

1. 会 期:2021年2月10日(水)～2021年3月6日(土)(日・祝は休館)
2. 時 間:10:00～16:00
3. 場 所:弘前大学資料館

本件問い合わせ先 :弘前大学資料館 電 話:0172-39-3432 E-mail:jm3432@hirosaki-u.ac.jp

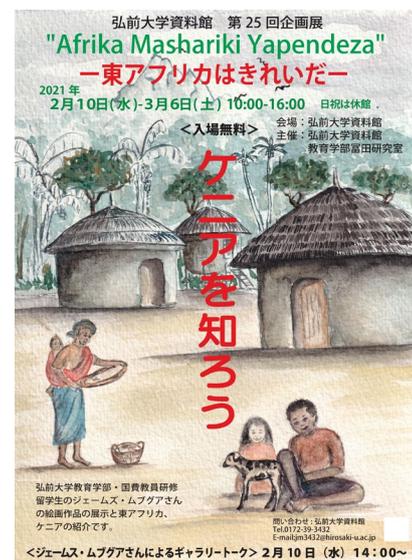
青い森の食材研究会セミナーの開催について

青い森の食材研究会は、青森県内の大学や試験研究機関で「食」の機能性等を研究している研究者が一堂に会して、研究者自らが機能性の情報を発信し広く普及させることで、青森県産機能性食材の活用につなげるとともに、新商品開発などを促し産業振興に寄与することを目的に活動しております。

当研究会では、白神酵母研究会との共催で令和2年度の青い森の食材研究会セミナーを下記日程にて開催いたします。

機能性食品に興味のある方はどなたでも参加できます。

是非ご参加ください。



○青い森の食材研究会セミナー

日時：令和3年3月4日(木)13：30～16：00

場所：オンライン ウェビナー (Microsoft Teamsを使用)

プログラム

講演1 「未・低利用食素材の利用の可能性～水産物を中心に～」

13：35～14：25 国立大学法人 弘前大学 農学生命科学部 食料資源学科 准教授 樋口 智之 氏

講演2 「プロバイオティクス乳酸菌とプレバイオティクス」

14：25～15：15 国立大学法人 弘前大学 農学生命科学部 食料資源学科 准教授 津田 治敏 氏

講演3 「弘前大学白神酵母について」

15：15～15：30 国立大学法人 弘前大学 農学生命科学部 分子生命科学科 教授 殿内 暁夫 氏

講演4 「弘前大学白神酵母の利活用」

15：30～15：45 青森県産業技術センター 弘前工業研究所 主任研究員 小倉 亮 氏

当日はMicrosoft Teamsによるオンライン形式でのセミナー開催となります。

セミナー当日は12:30より下記のリンクにて、
セミナー参加用のURLを公開しますので、そちらからご参加ください。

ひろさき産学官連携フォーラム

<http://www.cjr.hirosaki-u.ac.jp/hirosaki/>

主催：ひろさき産学官連携フォーラム 青い森の食材研究会

共催：ひろさき産学官連携フォーラム 白神酵母研究会

〔お問合せ先〕

青い森の食材研究会事務局 弘前大学研究推進課

担当：山本・安田

TEL：0172-39-3905・3912

E-mail：jm3905[at]hirosaki-u.ac.jp *「at」は@に置き換えてください。



令和3年度弘前大学大学院人文社会科学研究所 市民カレッジ受講生募集のお知らせ

1. 受講資格：4年制大学を卒業した方
2. 受講料：1科目あたり11,500円
3. 会場：弘前大学文京町キャンパス文社会科学部棟
4. 申込方法：問い合わせ先に連絡してください。
5. 受講申込書などをお送りします。

問い合わせ先

弘前大学 人文・地域研究科教務グループ (人文社会科学研究所担当)

電話：0172-39-3941

E-mail：jm3941@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学大学院
人文社会科学研究所市民カレッジ

令和3年度 受講生募集

弘前大学大学院人文社会科学研究所は、地域社会や国際社会の変化に対応できる高度専門職人を養成しています。社会人のみなさん、人文社会科学研究所<市民カレッジ>で「学び直し」「学び直し」を始めませんか？

市民カレッジの特徴

- 弘前大学文京町キャンパス(大)で大学院の授業科目を受講することができます。
- 学位の取得を目的とせず、知識・技能の習得を目的とする課程です。
- 受講科目の成績は、大学院入学後、正規の単位に振り替えることができます。
- 4年制大学を卒業した方であれば、どなたでも受講できます。
- 受講料は、1科目11,500円です。(入学科・検定料は必要ありません。)

開講科目について

- 10の専門分野からなる専門科目17科目を開講します。
- 大学院の授業科目を正規の大学院と同一に受講していただく形になります。
- 市民カレッジの受講費が課税で受講できる科目数の上限は、5科目です。

申し込み締切日

前期開講科目：4月5日(月)、後期開講科目：8月31日(火)

申し込み・問い合わせ先

弘前大学 人文・地域研究科教務グループ
TEL:0172-39-3941 FAX:0172-39-3189
Mail: jm3941@hirosaki-u.ac.jp

■開講科目【専門科目】

	曜日	時限	科目名	担当教員	専門分野
前期	火	1・2	倫理学	横地 徳廣	思想・芸術科学
		3・4	財政学	金目 哲郎	政策評価
	水	5・6	現代音楽思想	今田 匡彦	思想・芸術科学
	木	3・4	地方自治論	児山 正史	現代法政論
		3・4	考古資料保存論	片岡 太郎	文化財論
		5・6	イスラーム史	亀谷 学	歴史地域学
	金	3・4	国際経済学	桑波田 浩之	政策評価
		5・6	東アジア思想史	李 梁	思想・芸術科学
後期	月	9・10	産業組織論	小谷田 文彦	経済・統計分析
	火	1・2	生命環境倫理思想	横地 徳廣	思想・芸術科学
		9・10	雇用政策論	李 永俊	政策評価
	水	5・6	実証会計	加藤 恵吉	会計情報
	木	3・4	イギリス現代小説論	畑中 杏美	言語科学
		3・4	文化財科学	片岡 太郎	文化財論
		5・6	金融論	飯島 裕胤	政策評価
		9・10	日本語史	新永 悠人	日本語・日本文学
	金	7・8	フランス文化論	泉谷 安規	国際地域論

※開講科目の詳細は、弘前大学ホームページ掲載のシラバス（大学院）人文社会科学研究科を参照して下さい。なお、2021年度開講シラバスは、3月24日（水）以降に公開予定です。

シラバス URL : <https://www.hirosaki-u.ac.jp/support/syllabus.html>

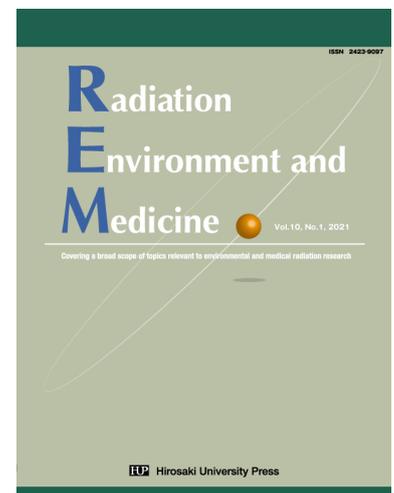
学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

Radiation Environment and Medicine 編集委員会 編「Radiation Environment and Medicine Vol.10 No.1」（A4変形判・pp.1-54、定価1,210円税込み）を出版しました。

～紹介文～

弘前大学は、原子力関連施設を擁する地域的な背景を踏まえ、平成20年度から被ばく医療体制の整備、被ばく医療に関わる教育・研究ならびに人材育成に取り組み、これまで多くの成果をあげてきました。東日本大震災後の原発事故対応ではこの成果が避難所での支援活動や様々な学術調査などの社会貢献につながり、こうした被ばく医療へ



の取り組みは弘前大学の意欲的かつ特色ある事業の一つとなっております。また平成27年に原子力規制委員会から原子力災害医療に対応する施設として「高度被ばく医療支援センター」及び「原子力災害医療・総合支援センター」に指定され、平成30年度末には指定更新を受けて引き続き両センターの活動を継続する事となりました。

これまでの弘前大学による被ばく医療関連の人材育成事業の一環として平成24年3月に刊行を開始した被ばく医療に関する学術誌 Radiation Emergency Medicine は、第5巻1号から、より広い分野からの投稿に対応する目的で、誌名をRadiation Environment and Medicine に改めました。

第10巻1号には、放射線生物影響、放射線計測等の7報の論文が掲載されております。今後も、放射線防護、線量評価、生物影響、放射線計測、被ばく医療教育、放射化学分析、放射線看護、疫学調査、臨床研究など放射線科学の幅広い分野にわたる論文を掲載していく予定です。

皆様からの投稿をお待ちしております。

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第58号」では、「Challenge! 国立大学」において、弘前大学の100円夕食の取り組みが紹介されています。ぜひご覧ください。

最新号「国立大学第58号」

https://www.janu.jp/report/files/janu_vol58.pdf

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<https://www.janu.jp/report/>

その他、第52号・第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：INFO-HIRO-21は毎月1日、月1回発行しています。

講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿は発行予定日の7日程度前までに、掲載希望の旨付記し、下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線:3029